

令和6年度指導教諭の紹介

| | |
|---|---|
| <p>教科（科目）</p> <p>地理歴史（地理）</p> <p>名前 (ふりがな)</p> <p>高橋 泰成 (たかはしやすなり)</p> <p>勤務校 (問い合わせ先)</p> <p>大分県立 大分舞鶴高等学校 住所：〒870-0938 大分市今津留 1-19-1 TEL：097-558-2268 FAX：097-558-2293</p> <p>授業公開の日程</p> <p>○2年地理総合</p> <ul style="list-style-type: none">・月曜 2限・月曜 5限・水曜 4限・金曜 1限 <p>○3年地理探究</p> <ul style="list-style-type: none">・火曜 2限・火曜 6限・木曜 1限・金曜 5限 | <p>1 授業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・毎時間、本時の核となる発問(MQ)を設定し、思考力・判断力・表現力の育成を目指しています。・発問の際には、多くの生徒とやり取りを行うことで、全員が授業に主体的に参加できるようにしています。・思考する時間と説明を聞く時間、地図や資料を読み取る時間等、諸活動のバランスをとることで、メリハリのある授業展開を心がけています。・ICTを効果的に活用するとともに、板書で授業の構造化を行い、1時間の授業の全体像が見えるようにしています。・今年度は「一人一台端末の効果的な活用法」を研究テーマとしています。 <p>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</p> <ul style="list-style-type: none">・「主体的・対話的で深い学び」の捉え方・発問を作成する視点・板書の構造化の手法・一方的に話しすぎない授業、・効果的なグループワーク <p>3 研修講演等が可能なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none">・「主体的・対話的で深い学び」の実践を目指して・どうすれば思考は深まるか（発問を作成する視点）・効果的なICTと板書の活用について（板書の構造化の手法）・生徒が主体的に活動する授業とは（一方的に話しすぎない授業） <p>4 活動実績</p> <ul style="list-style-type: none">・大分県教育庁高校教育課 地歴公民担当指導主事（H28～R3年）・九州高等学校地理教育研究会 研究発表（H16年、H24年） <p>5 自己紹介、プロフィールなど</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度まで指導主事として、県全体の授業力向上を目指して各高校での授業研究会に参加し、「良い授業とは」ということについて、教職員の皆さんと一緒に考える活動を行ってきました。・現在は指導教諭として、これまで行ってきた活動を継続しながら、モデルとなる授業の実践者を目指して、さらに研鑽を積んでいきます。 <p>6 学校紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・創立74年目を迎える進学校で、ラグビー部やテニス部、科学部など多くの部活動が全国大会で活躍しています。「しまれ・がんばれ・ねばれ・おしきれ」の舞鶴魂を校是として、文武両道を目指す活気に満ちた学校です。 <p>7 学校や関係HPのリンクなどアドレス</p> <ul style="list-style-type: none">・大分舞鶴高校 HP http://kou.oita-ed.jp/oitamaizuru/ |
|---|---|